



ABAの国際化と多極化：専門資格の標準化、教育と普及について

- 田中桜子 PhD BCBA-D
- (一社) アジア・パシフィックABAネットワーク代表理事
- NPO Asia-Pacific ABA Consortium Executive Director
- QABA認定コースプロバイダー (ABAT, QASP-S, QBA)
- QABA ISC 国際標準制定員会 委員
- WBADA 世界行動分析学デー連盟 理事



学習目標

1. **ABAI**国際行動分析学会による教育の階層型モデルについて
2. ABAの国際資格の種類と認定機関について
3. 自閉症と発達障害に特化した日本語での**ABA**の認定コースワーク
4. 「世界行動分析学デー」**WBAD**について



1. ABAI国際行動分析学会による教育の階層型モデルについて



■ Tiered Model階層型モデル

- 2020年、ABAI執行評議会は「ABAI教育タスクフォース」を任命しました。その任務は、世界中の行動分析学研修プログラムの教育基準を定義することでした。
- Tiered Model of Education階層型教育モデルは、質の高い学術的なトレーニングプログラムの認定を行うものです。このモデルは、ABAI認定委員会の基準（Tier 1）に基づき、ABAIの認定につながる4つの階層（レベル）を含んでいます。認定は、行動分析学の科学と応用における質の高いトレーニングを示すものです。さらに、米国内の修士・博士課程に対するABAIの認定制度は米国高等教育審議会（CHEA）によって認可されています。
- Tier 1第1段階のプログラムは、ABA(とCHEA)の認定を受けており、行動分析学において最高レベルの品質認定を受けています。2a から 4b は、異なるプログラムの構造と内容を考慮し、ABAI の認定に近いものを指定しています。国際的に存在するプログラムの能力や構造の幅を考慮すると、この階層は、認定基準を満たすことができないプログラムによる質の高いトレーニングの認定を提供します。同時に、この段階は、最終的に認定を受けることを目指すプログラムにとって、ロードマップを提供するものです。



ABAI 国際行動分析学会による 教育の階層型モデルについて

- この階層は、プログラムが高等教育機関に設置されているか、学位が授与されるか、スーパービジョンのもとでの体験学習が含まれるか、という3つの要素によって構成されています。学位取得を目的としないプログラムは、サーティフィケートやポストグラデュエートプログラムと呼ばれ、基本的にコースワークのみのプログラムであり、学位やディプロマを取得することはできません。
- スーパービジョンのもとでの体験学習の目的は、専門的な実践および／または研究のスキルを身につけることです。体験学習は学内外で行われ、行動変容の介入を含む基礎研究または応用研究を体験することができます。経験学習には、資格や免許の要件を満たす活動を含めることができますが、これに限定されるものではありません。プログラムでは、資格認定や免許取得の要件を満たすために、一部またはすべての経験を提供することができますが、それは必須ではありません。大学院レベルでは、論文、論文に相当するもの、学位論文、またはその他の関連活動の完了も、スーパービジョンのもとで経験学習要件を満たす場合があります。表1は、各レベルの概要を示したもので、さらに以下の説明があります。



	Tier	Type
Higher Education Institutions (HEI)	1	Accredited Degree Program with Experiential Learning
	2a	Recognized Degree Program with Experiential Learning
	2b	Recognized Degree Program
	3a	Recognized Non-Degree Program with Experiential Learning
	3b	Recognized Non-Degree Program
Non-HEI Organizations	4a	Recognized Non-Degree Program with Experiential Learning
	4b	Recognized Non-Degree Program

ABAI国際行動分析学会による 教育の階層型モデルについて

- Table 1
- Overview of Tiered Model of Education
-





- 検証済みコースシーケンス
- 検証済み連続コース（VCS）とは、特定のコースワーク要件、コンテンツ時間、および教授基準を満たすものとして、国際行動分析協会によって検証された一連のコースのことです。
- 教育機関は、VCSを学位プログラムに組み込むか、独立した科目群（修了証プログラム）として提供するか、またはその両方として提供することができます。VCSは、学部レベルまたは大学院レベルのコースワークを提供することができます。また、VCSプログラムを、修士・博士レベルのコースワークでさらに分離することを選択するプログラムもあります。





VCSプログラム

ABAIには、行動分析士認定協会（BACB）試験申請のための検証済みコースワークと、ABAIからの文化行動科学研究修了証のための検証済みコースワークの**2種類のVCS**があります。

行動分析士認定協会（BACB）：第5版BACBコースシーケンスの検証は、BACB受験申請の一部として、BCBAパスウェイ2またはBCaBAパスウェイ2のコースワーク要件のいずれかの資格基準を満たします。申請者は、受験申請前に追加要件を満たす必要があります。

Culturo-Behavior Science studies文化行動科学研究：一連のコースがAssociation for Behavior Analysis InternationalのCulturo-Behavior Science studies文化行動科学研究修了証の修了証の資格基準を満たすことを検証する。申請者は、証明書を取得する前に、追加の要件を満たす必要があります。



ABAI 国際行動分析学会による 教育の階層型モデルについて

- Tier 1階層1：体験学習を伴うア kredィテーション（認可）
- Tier 1 は、現在存在し、米国高等教育審議会CHEA によって公的に認可されている ABAIの 認定を持つものです。ABAI Accreditation Board は、スーパービジョンのもとでの体験学習を伴う学士、修士、および博士号プログラムを認定しています。また、認定されたプログラムはTier1として認識されます。初回認定および再認定を申請するプログラムは、必要な資格基準と認定基準を満たしていることを証明しなければなりません。認定申請は、引き続きABAI認定委員会による認定手続きと審査が行われます。
- Tier 2a階層 2a: 経験学習を伴う認定された学位プログラム
- Tier 2a は、スーパービジョンのもとでの経験学習をプログラム要件として含む学士、修士、博士、および同等の学位プログラムをABAIが認定するものです。博士課程は、第1段階または第2段階aの認定を受けることができます。完全かつ確立された学位プログラムは、認定へのステップとして、第2段階aによる最初の認定申請を検討することができます。



2. 国際資格の種類と認定機関について

- BACB Behavior Analyst Certification Board® NCCA (by ICE) accredited

[BACB - Behavior Analyst Certification Board](#)

- QABA Qualified Behavior Analysts Credentialing Board® ANSI accredited

[Home - QABA \(qababoard.com\)](#)

- IBAO International Behavior Analyst Organization®

[International Behavior Analyst - Ibao \(theibao.com\)](#)



“A History of the Professional Credentialing of Applied Behavior Analysts” James M. Johnston, et.al. Behav Anal. 2017 Nov; 40(2): 523–538.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC6701231/>



2. 国際資格の種類と認定機関について

■ Behavior Analyst Certification Board (BACB) 米国行動分析士認定協会

BACB は、ABA 実務者、政府、および ABA サービスの消費者の資格認定ニーズに対応するために 1998 年に設立された。BACB の初期には、その認証プログラムは一貫して成長し続けましたが、その成長は緩やかなものでした。最初の 13 年間で、BACB は 10,000 名を認証した。この 7 年間で、この数は 10 万人以上の認定者にまで増えました。さらに、2009 年以降、31 の州で行動分析士の免許を与える法律が制定されました。また、世界中に資格制度を広げることに努力してきました。

NCCA (by ICE) accredited

BCBA (BCBA-D) 修士号（博士号）レベルの行動分析士

BCaBA 学士号レベルの準行動分析士

RBT 登録行動テクニシャン



BEHAVIOR ANALYST CERTIFICATION BOARD (BACB) 米国行動分析士認定協会



グローバル認証についての声明

- BACBは現在、居住国に関係なく、個人の認証申請を受け付けています。2023年1月1日以降は、米国、カナダ、オーストラリア、英国（UK）*に居住する個人のみが、BACB認定を申請することができます。2023年1月1日以前に取得したBACB認定者は、再認定要件を満たし続ける限り、認定を無期限に維持することができます。2019年のBACB独自の発表に、この変更に関する追加情報が記載されています。他の国での将来の認証取得可能性に関する最新情報については、このウェブページを参照してください。
- 2023年1月1日より、BACBは、認定教育機関以外で授業が行われるAlternative Pathwayの下で承認されたVerified Course Sequencesのコースワークを認めないことになりました。BACBはもともと、北米以外の地域における行動分析学トレーニングの取り組みを支援するための取り組みとして、コースワーク検証のための代替経路を開発しました。BACBの国際的な焦点の変更に伴い、2023年からBCBAおよびBCaBAの認定申請は、認定教育機関で単位取得のために教えられたコースワークを含むBCBAおよびBCaBAハンドブックに記載のすべての要件を満たす必要があります。



2. 国際資格の種類と認定機関について

IBAO INTERNATIONAL BEHAVIOR ANALYST ORGANIZATION®

IBA とIBTの2種類のCERTIFICATE（証明書）を発行。



- 国際行動分析士®(IBA®)資格とは？
- 国際行動分析士（IBA®）資格は、教育、経験、実践、監督に関する様々なタスクや活動を完了したことを証明することで取得できます。IBA®は、個人が有能な行動分析官であり、家庭、学校、およびさまざまなコミュニティ環境において、効果的かつ倫理的な行動サービスを提供する準備ができていることを世界に示す成果です。
- 国際行動分析士（IBA®）は何をする人ですか？
- 世界中のIBAは、様々な環境、様々なクライアントに行動サービスを提供しています。多くのIBAは、自閉症スペクトラム、発達障害、その他の障害を持つ人々や、言語発達、挑戦的行動、日常生活スキル、社会的スキル、学習支援などの追加的支援を必要とする人々と働いています。また、企業の人事部で働く人や、動物や海洋環境で動物を訓練する人もいます。IBAは、どのような環境でも、どのようなクライアントでも、クライアントの生活がより良くなることを願い、行動サービスを提供します。



IBAO INTERNATIONAL BEHAVIOR ANALYST ORGANIZATION®

IBA とIBTの2種類のCERTIFICATE（証明書）を発行。



- 国際行動療法士®(IBT®)資格とは？
- 国際行動療法士®（IBT®）は、40時間のトレーニング、300時間のスーパービジョン付き実習、およびスーパービジョン関連のタスクとアクティビティを完了したことを証明することによって取得できます。IBT®は、その人が有能な行動療法士であり、家庭や学校、様々なコミュニティの場で効果的かつ倫理的な行動サービスを提供する準備ができていることを世間に示す成果です。
- 国際行動療法士（IBT®）は何をする人ですか？
- 世界中のIBTは、さまざまな場面で、さまざまなクライアントに行動療法サービスを提供しています。ほとんどのIBTは、自閉症スペクトラム、発達障害、その他の障害を持つ人や、言語発達、挑戦的行動、日常生活スキル、社会的スキル、学習支援にさらなる支援を必要とする人を対象にしています。IBTは通常、クライアントに直接行動サービスを提供する、実践的で「最前線」のセラピストです。
- 通常、IBTは、行動分析士と行動療法士（IBT）のチームの一員として働きます。IBT®は、通常、IBAが設計し監督する行動支援を実施する人です。





2. 国際資格の種類と認定機関について

QABA Qualified Behavior Analysts Credentialing Board

- The Qualified Applied Behavior Analysis Credentialing Board (QABA®) は、自閉症スペクトラムおよび関連障害を持つ個人に対して応用行動分析（ABA）サービスを提供する専門家の間で最高水準のケアを保証することを目的とした国際的に認定された資格認定機関です。
- **American National Standards Institute** (ANSI) 米国規格協会（ANSI / ˈænsi/ AN-see）は、米国内の製品、サービス、プロセス、システム、人材に関する任意の合意規格の開発を監督する民間の非営利組織である[3]。 また、米国の製品が世界中で使用できるように、米国の規格と国際規格の調整も行っている。
- ANSIは、他の規格団体、政府機関、消費者団体、企業などの代表者によって開発された規格を認定しています。これらの規格により、製品の特性や性能が一貫していること、人々が同じ定義や用語を使用していること、製品が同じ方法でテストされていることが保証されます。また、ANSIは、国際規格で定義された要件に従って製品や人員の認証を行う組織を認定しています[4]。



QABA Qualified Behavior Analysts Credentialing Board

QBA、QASP-S、およびABAT資格認定プログラムは、自閉症スペクトラム障害(ASD)および応用行動分析(ABA)に関する特別な教育・訓練を受け、適格行動分析士(QBA)、ABAの実践範囲内で認可された心理学者、または認定行動分析者(BCBA)など、認可または認定された専門家の監督の下で行動保健サービスを提供している個人を認定する必要性に取り組んできました。

ANSI accredited



QABA®はニーズに応えた



- これらの業界標準を策定し、トレーニングと資格認定のシステムを確立するプロセスは、QABA®（Qualified Applied Behavior Analysis Credentialing Board®）が自閉症の文献調査を用いて実施しました。
- 国際ABA資格認定機関BACB®が英語圏のみの資格に制限されることが決定した今、唯一、QABA®のみが同等の資格認定を非英語圏にも提供している。



3. 自閉症と発達障害に特化した ABAの認定コースワーク

QABA CREDENTIALING BOARD®
QABA®認定協会



Qualified Applied Behavior Analysis Credentialing Board (QABA®) は、行動分析家、ABAプロバイダー、保険会社、政府機関、行動分析士および行動保健サービスの消費者が特定した認定のニーズを満たすために2012年に設立されました。本部は米国カリフォルニア州アーバイン市にあります。



QABA® 認定プログラム

Qualified Behavior Analyst (QBA®)について**Qualified Behavior Analyst**（適格行動分析士）の略。この資格者は、候補者の自閉症スペクトラム障害および関連する障害を持つ個人に治療的介入を行う専門家のコンピテンシーにおける知識、スキル、能力を持ち、専門家としての完全な能力／資格を示しているかどうかを判断します（公衆の安全と福祉を守るため）。

Qualified Autism Services Practitioner-Supervisor (QASP-S®)認定自閉症サービスプラクティショナー・スーパーバイザー：中堅レベルの資格。QASP-S認定者は、スペクトラム障害としての自閉症を理解し、自閉症に効果的に取り組むための原則を示します。QASP-Sは、ABAおよびASDの範囲内でライセンスを持つ専門家、またはBCBAやQBAの監督下でスーパーバイズを行うことができます。申請者は、8時間のスーパーバイズコースワークの証拠を提出しなければなりません。

Applied Behavior Analysis Technician (ABAT®)ABA技術士

エントリーレベルの資格。この試験は、承認されたコースワークを修了し、必要な15時間の監督付きフィールドワークを満たした人を対象としています。

QASP-S®と**ABAT®**は、QBA、ABAとASDを診療範囲に持つ免許を持った専門家、またはBCBAの監督の下で活動します。



事前承認済みコースワーク

QABAは、カレッジ、大学、サービスプロバイダー、オンライントレーニング会社を通じて提供される既存のコースワークの資格を事前に判定するプロセスを確立しました。

(U of South Florida, U of West Florida, UC Santa Barbara, Clarion U, African and Korean universities etc.)



- このプロセスはQABAのウェブサイトに掲載されています。
QABAの資格認定のための現在のPre-Approved Coursework and CEU Providersをウェブサイトで確認することができます。



QABA QASP-Sのコンピテンシー規準

ドメイン

A. 自閉症スペクトラム障害の基礎知識

- 1. 自閉症スペクトラム障害に関連する**DSM-IV**および**DSM-V**（または現行の**DSM**）
- 2. 自閉症スペクトラム障害に関連する**CDC**の警告する危険因子と併存疾患
- 3. 発達のマイルストーン（典型的なもの、非典型的なもの、年齢に応じたものなど
- 4. 自閉症の診断プロセス

B. 法的・倫理的・専門的な考慮事項

- 1. **QABA**の倫理規定
- 2. **HIPAA**規制（制限を含む守秘義務、報告義務、報告文書、警告義務と保護義務の比較など）、日本の規制や慣例との比較
- 3. 教育法（**IDEA**、**LRE**、**IEP**、**ADA**、**Rehabilitation Act**、**504 Plan**など）日本との比較
- 4. ポジティブ行動支援
- 5. パーソンセンタードプランニング
- 6. 連携の方法（治療遵守、紹介の方法など）



	ABAT (example)	QASP-S	Additional class for QABA	QBA
ASD basics	5	15	5	20
Legal, Ethics, Professional Consideration	5	10	10	20
Core Principles of ABA	5	35		35
Antecedent Interventions	5	20	10	30
Skill Acquisition	5	40		40
Behavior Reduction Interventions	5	20	10	30
Data Collection Analysis	5	20	10	30
Assessment	5	20	25	45
Training and Supervision	15+	8	12	20
Total Hours of Instruction	40+ (& 15+ SV; 当法人 100+)	188	82	270 (当法人 295+)

	BcaBA requirement (Basic class)	Advance class	BCBA Requirement
Ethical and Professional conduct	15	30	45
Concepts and principles of BA	45		45
Fundamental Elements of Behavior Change and Specific Behavior change procedure	45		45
Intervention and Behavior change consideration	5	5	10
Behavior change system	5	5	10
Measurement data analysis	10	15	25
Experimental design	5	15	20
Identification of problem and assessment	30		30
Implementation, management Supervision	5	5	10
DISCRETIONARY	15	15	30
	180 (225)	90	270(315)

スーパービジョン・トラッキングシート

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
指導者 の 記録	【直接介入】																					
	セラピー実施																					
	直接介入合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	【間接介入】																					
	プログラム作成																					
	データ分析、グラフ																					
	行動計画作成																					
	アセスメント																					
	論文掲載																					
	ペアレントトレーニング																					
	セラピストの研修、指導																					
	ミーティング																					
	間接介入合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立行動観察合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スーパービジョン の 記録	スーパービジョン 個別																					
	クライアントとの直接介入																					
	スーパービジョン グループ																					
	クライアントとの直接介入																					
※	50時間総合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



QABA QASP-Sのコンピテンシー規準

C. 応用行動分析学の基本原理（概念と原理）

- 1. 4項随伴性
- 2. レスポンデント行動とオペラント行動の比較
- 3. 刺激（例：刺激性制御、弁別刺激、刺激デルタ、SD-p、般化、弁別、反応
- 4. 飽和と遮断を含む動機付け操作
- 5. 死人テスト
- 6. 強化と弱化（例、正と負）
- 7. マッチングの法則(例、率、マグニチュード)
- 8. 条件性/non条件性強化子と弱化子
- 9. 強化の基本スケジュール（固定間隔、固定比率、変動間隔、変動比率）
- 10. 消去のリスクと副作用 (消去バースト、自発的回復、反応復活、そして更新)
- 11. 基本的言語オペラント (マンド、タクト、エコーイックとイントラバーバル)
- 12. 科学的理解（記述、予測、制御）
- 13. 科学の6つの態度
- 14. 応用行動分析学の7つの次元



QABA QASP-Sのコンピテンシー規準

D. 先行戦略

- 1. 先行戦略（例：プライミング、選択肢、行動モメンタム、視覚支援、プレマック法則、環境修正）
- 2. NCR 非随伴性強化手順
- 3. FCT 機能的コミュニケーショントレーニング
- 4. 設定事象の影響、環境改変



QABA QASP-Sのコンピテンシー規準

E. スキル習得のプログラミング

- 1. 目標の作成基準（例：客観的に測定可能な習得基準、ターゲット）
- 2. プログラム成功のための社会的・文化的要因
- 3. エラー修正法
- 4. プロンプト（例：階層性、方法、フェーディング、タイプ、プロンプト依存症）
- 5. ABAの指導・教育方法論

F. 不適切行動を減らす介入

- 1. 行動介入計画の構成要素
- 2. トークンエコノミーの構成要素（例：バックアップ強化子、般性強化子、反応コスト）
- 3. タイムアウト手続き
- 4. 分化強化手続き
- 5. 行動対比
- 6. 機能評価と行動の機能
- 7. 集団随伴性
- 8. 随伴性契約の構成要素
- 9. 不適切行動を減らすための介入（例：消去、タイムアウト、集団随伴性、弱体化手続き）に関する倫理的配慮



QABA QASP-Sのコンピテンシー規準

G. データ収集と分析

- 1. 測定の種類（例：頻度／率、持続時間、力／マグニチュード、反応潜時、IRT反応間時間）
- 2. ABA のグラフの種類
- 3. データ収集方法
- 4. 連続および非連続の測定システム（例：部分インターバル記録、全インターバル記録、瞬間タイムサンプリング）
- 5. IOAの種類（例：全カウントIOA、試行別IOA）
- 6. ビジュアル分析（トレンド、レベル、変動性など）
- 7. 信頼できる測定の特徴（信頼性、正確性、妥当性など）、測定の検証



QABA QASP-Sのコンピテンシー規準

H. アセスメント

- 1. 刺激選好査定と強化子査定の種類（例：限界と利点、実施方法）
- 2. 機能に基づく行動低減のためのアセスメントツール（例：直接（記述的）および間接的なアセスメントを含む行動アセスメントの構成要素とその利点・限界、行動機能評価FBAの定義と構成要素）
- 3. 行動アセスメント・スケール（面接とスケール）
- 4. 条件付確率
- 5. 環境分析、エコロジー・アセスメント
- 6. 操作的定義の基準

I. トレーニングとスーパービジョン

- 1. 治療と手順の完全性の監視
- 2. 観察者間ドリフトと反応性/リアクティビティ
- 3. 観察者間一致の検証方法
- 4. 訓練手順と行動技能訓練BST
- 5. パフォーマンス評価（例：フィードバック、記録、継続的支援）
- 6. ケアの調整（親のトレーニング、連携、リエゾン、一般的にわかりやすいコミュニケーション）
- 7. 社会文化的価値（考慮事項）



スーパービジョントラッキングフォーム



		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
自立的経験	【直接介入】														
	セラピー実践														
	直接介入合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	【間接介入】														
	プログラム作成														
	データ分析、グラフ														
	行動計画作成														
	アセスメント														
	論文講読														
	ペアレントトレーニング														
	セラピストの研修、指導														
	ミーティング														
	間接介入合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立的経験合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SV下経験	スーパービジョン：個別														
	クライアントとの直接介入？														
	スーパービジョン：グループ														
	クライアントとの直接介入？														
	SV下経験合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



5. 「世界行動分析学デー」 WBADについて

- 世界行動分析日連盟は、行動分析学の国際的な祝典を促進するために設立された新しい組織です。先日、2022年3月14日～20日に第2回目の記念行事が開催され、第3回目を楽しみにしています。詳細については、以下をご覧ください。

<http://www.behavioranalysisday.com>.

<https://youtu.be/XNM6-F1M0hs>





BOSEDE ASIKHIA



**KAREN CHARTIER
SECRETARY**



**GORDON BOURLAND
VICE PRESIDENT**



JANET ENRIQUEZ



**CHRISTY EVANKO
TREASURER**



COLLEEN WILLIAMS



SAKURAKO TANAKA



**ELIZABETH DRAGO
PRESIDENT**



**MARIANA DE
LOS SANTOS**



SARAH DUARTE





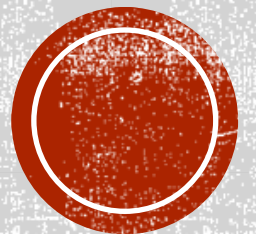
- **Social Media: Subscribe Today! See how people are celebrating on social media:**
- Facebook – [WorldBehaviorAnalysisDay](#)
- Twitter – [@BehaviorDay](#)
- Instagram – [BehaviorDay](#)
- Youtube – World Behavior Analysis Day
- See [this press release](#) regarding the day of celebration
- Feel free to modify [this press release](#) to use for your organization.



ご清聴ありがとうございました

[HTTPS://WWW.ABASAPPORO.NET/](https://www.abasapporo.net/) (日本)

[HTTPS://ABA-ASIAPACIFIC.COM/](https://aba-asiapacific.com/) (シンガポール)



6/10/2022